

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日 2022年05月20日

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 所属学部／研究科・学科／専攻           | 国際日本学部国際日本学科  |
| 留学先国                     | アメリカ  |
| 留学先高等教育機関名<br>(和文及び現地言語) | 和文：メンフィス大学<br>現地言語：University of Memphis  |
| 留学期間                     | 2021年8月～2022年5月   |
| 留学した時の学年                 | 2年生(渡航した時の学年)   |
| 留学先での学年                  | 3年生(留学先大学で在籍した学年)   |
| 留学先での所属学部等               | <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。   |
| 帰国年月日                    | 2022年5月16日  |
| 明治大学卒業予定年                | 2024年3月   |
| <b>留学先大学について</b>         |   |
| 形態                       | <input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他 |
| 学年暦                      | 1学期:8月下旬～12月中旬 2学期:1月中旬～5月上旬 3学期: 4学期:<br>(記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)  |
| 学生数                      | 22,205  |
| 創立年                      | 1912  |

| 留学費用項目      | 現地通貨 (\$)     | 円               | 備考  |
|-------------|---------------|-----------------|---|
| 授業料         | \$0           | 0円              | 明治大学の授業料を払う                                       |
| 宿舍費         | \$3,715       | 472000円         |   |
| 食費          | \$800         | 104470円         |   |
| 図書費         | \$0           | 0円              |   |
| 学用品費        | \$300         | 39176円          | 教科書   |
| 携帯・インターネット費 | \$520         | 67900円          |   |
| 現地交通費       | \$0           | 0円              | ( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車) |
| 教養娯楽費       |               | 円               |   |
| 被服費         | \$500         | 65294円          |   |
| 医療費         | \$30          | 3917円           | ツベルクリン検査  |
| 保険費         | \$895         | 116895円         | 形態:明大サポート   |
| 渡航旅費        | \$1719        | 224500円         |   |
| ビザ申請費       | \$160         | 20894円          |   |
| 雑費          | \$100         | 13000円          | 生活用品  |
| その他         |               | 円               |   |
| その他         |               | 円               |   |
| <b>合計</b>   | <b>\$8739</b> | <b>1141212円</b> |   |

## 渡航関連

|  |
|--|
| <b>渡航経路</b>  |
| 往路 出発地:成田 目的地:メンフィス 経由地:シカゴ<br>復路 出発地:メンフィス 目的地:成田 経由地:ニューヨーク  |
| <b>渡航費用</b>  |
| ①往復チケットを購入した場合<br>航空会社:日本航空<br>料金:224500 円<br>②片道ずつチケットを購入した場合<br>往路 航空会社: 料金:<br>復路 航空会社: 料金: ∴合計:                        |
| <b>航空券購入方法</b>   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:JTB) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名: ) <input type="checkbox"/> その他( ) |

## 滞在形態関連

|   |
|---|
| <b>1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)</b>   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:carpenter complex) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ   |
| <b>2)部屋の形態</b>  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4)  |
| <b>3)共有部分</b>   |
| <input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可) |
| <b>4)住居を探した方法:</b>  |
| 留学先大学に従った   |
| <b>5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)</b>   |
| 部屋の温度の調節など、他のルームメイトと合わないことがあるので、その場合はちゃんと話すことで解決できるので、直接話すことをお勧めします。  |

## 現地情報

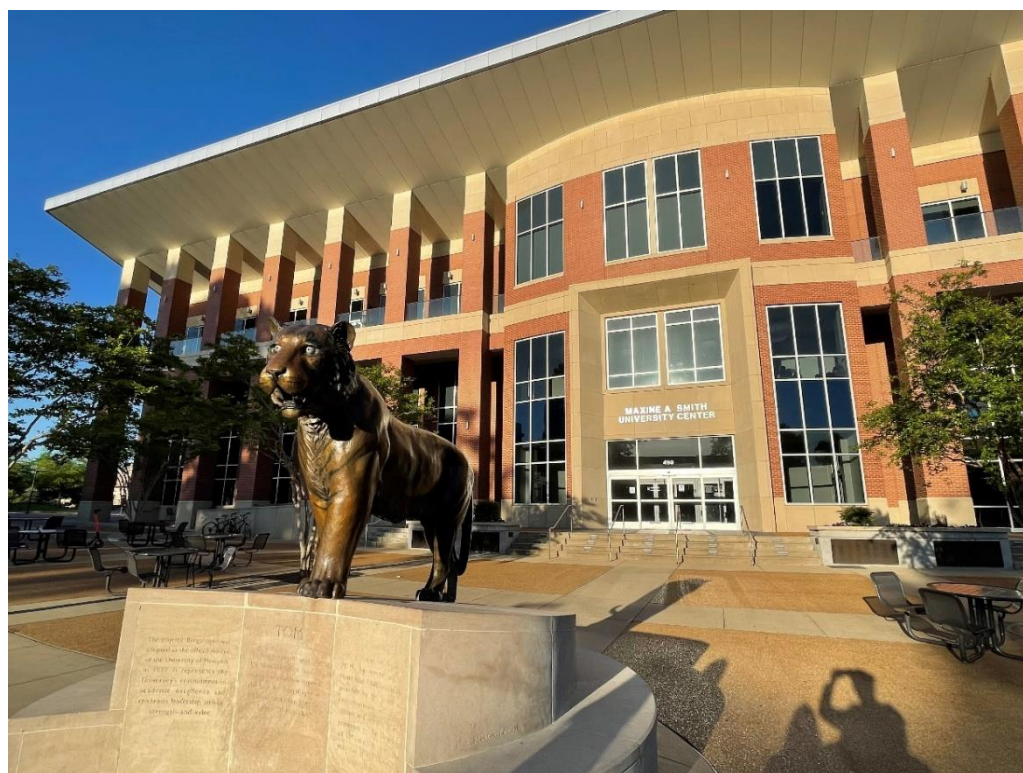
|  |
|--|
| <b>1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)</b>   |
| <input checked="" type="checkbox"/> なし<br><input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: )  |
| <b>2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)</b>  |
| <input checked="" type="checkbox"/> なし<br><input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: )  |
| <b>3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?</b>   |
| 基本夜に出歩かないことですが、イベントなどで外が暗くなってから帰宅する場合は、友達と一緒に帰宅することをお勧めします。  |
| <b>4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)</b> |
| ソフトバンクの海外プランを使用したが、電話番号が使えないことがあり、非常に不便だったので、途中から、Verizon を現地で契約して使用しました。Wi-Fiは基本的に大学内、寮では問題なく使えます。                                  |
| <b>5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)</b>                            |
| 出発前に円をドルに換えて約7万円分持って行き、他は基本的にカードを使用し、現地での銀行開設は行わなかった。カードは二枚持っていました。  |
| <b>6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。</b>   |
| 洗濯ネット、ヒートテック   |
| <b>7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)</b>                                       |
|  |

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

|  |  |  |
|--|--|--|
| 1)留学先で取得した単位数合計  |  | 本学で認定された単位数合計<br>※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。                                    |
| 24単位   |  | <input type="checkbox"/> 単位<br><input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: ) |
| 2)履修登録の時期・方法及び履修制限   |  |  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後<br><input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( )<br>・履修の制限はありましたか？ 一部授業は履修前に試験を受ける必要があったり、教授の許可が必要な場合があります。 |  |  |
| 3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。  |  |  |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語):  |  | 履修した授業科目名(日本語):  |
| Business of Hospitality  |  | ホスピタリティービジネス   |
| 科目設置学部・研究科   | Hospitality  |  |
| 履修期間   | 秋学期  |  |
| 単位数  | 3  |  |
| 本学での単位認定状況   | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)   |  |
| 授業形態   | 講義形式(チュートリアル, 講義形式等)   |  |
| 授業時間数  | 1週間に85分が2回   |  |
| 担当教授   | Carol Silkes   |  |
| 授業内容   | 主にホテルや航空などサービス業界のホスピタリティーについて学びます。この授業では、実際にホテルの方がきてホスピタリティーについてお話して下さったりするのでとても興味深かったです。  |  |
| 試験・課題など  | 毎週オンラインでのテストがあります。教授がアップロードしたPPTと教科書を基に勉強すればそこまで難しいものではないです。それに加えて、毎週ディスカッションボードというものがあり、その週の振り返りを投稿し、他の生徒の投稿にも返信するシステムです。中間はなく、学期末に、ホスピタリティーやサービスに関する人物や企業について、Wordで4枚分のレポートを提出します。 |  |
| 感想を自由記入  | 教授は非常に明るくてとても気さくな方なので、質問や不安なことがあれば丁寧に対応してくれます。クラスの規模はそこまで大きくなく、クラスメイト内でも交流があったので、とても受けやすい雰囲気のクラスでした。   |  |



|                     |   |
|---------------------|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語):   |
| Sociology of Gender | ジェンダー社会学  |
| 科目設置学部・研究科          | sociology   |
| 履修期間                | 秋学期   |
| 単位数                 | 3   |
| 本学での単位認定状況          | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)  |
| 授業形態                | 講義形式(チュートリアル, 講義形式等)  |
| 授業時間数               | 1週間に85分が2回  |
| 担当教授                | Kendra Murphy   |
| 授業内容                | 秋学期の中では一番難しい授業でした。それと同時に一番ためになり、受けていて一番面白いと感じる授業でした。社会学的な Gender だけでなく、生物学的な視点からも学ぶので、専門用語を覚えるのに非常に苦労しました。また、毎週1chapter ずつ教科書を読む必要があり、その教科書が非常に長いので、予習が大変でした。   |
| 試験・課題など             | chapter ごとにオンラインクイズがあり、授業をしっかりと受け、教科書を読めば解けるものがほとんどでした。試験は中間はなく期末にあり、chapter ごとのクイズを基に出されるので、chapter クイズで間違えたところを復習すれば難しいです。課題に関しては、四回レポートなどの課題があります。ただのレポートではなく、自分で論文を読み分析をしたりするので難しですが、下記に書いたように教授にアドバイスをもらえるので、何とか乗り切れました。 |
| 感想を自由記入             | 秋学期の中では一番難しい授業でした。それと同時に一番ためになり受けていて一番面白いと思う授業でした。社会学的な gender だけでなく、生物学的な視点からも学ぶので、専門用語を覚えるのに非常に苦労しました。また毎週1chapter ずつ教科書を読む必要があり、その教科書が非常に長いので、予習が大変でした。教授は、厳しいように見えますが、非常に熱心な方で、課題に関してもオフィスアワーに行くと丁寧にアドバイスを下さるので、活用しました。   |



|                              |  |                 |  |
|------------------------------|--|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語):          |  | 履修した授業科目名(日本語): |  |
| Japanese Culture and Society |  | 日本文化と社会         |  |
| 科目設置学部・研究科                   | Japanese   |                 |  |
| 履修期間                         | 秋学期  |                 |  |
| 単位数                          | 3  |                 |  |
| 本学での単位認定状況                   | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)   |                 |  |
| 授業形態                         | 講義形式(チュートリアル, 講義形式等)   |                 |  |
| 授業時間数                        | 1週間に85分が2回   |                 |  |
| 担当教授                         | Hironori Nishi   |                 |  |
| 授業内容                         | 日本の文化や、習慣などに関して学んでいく授業です。  |                 |  |
| 試験・課題など                      | 課題に関しては、5回のレポート提出がありますが、字数は多くなく、日本のことに関してなので、難しくありません。期末は、同じように日本に関してレポートを書き、それに関してプレゼンをしました。  |                 |  |
| 感想を自由記入                      | かなり今の日本について聞かれることがあるので、生徒でもあり、先生になったような気持ちでもありました。日本に興味がある生徒が集まるので、友達を作りやすいです。実際に、秋学期後も仲よくしていた友達もいます。また、この授業は英語で行われますが、難しくないので、履修する場合はアメリカの授業についていくのに慣れていない秋学期にとることで、少し余裕を持つことが出来るのでお勧めです。 |                 |  |

|                          |  |                 |  |
|--------------------------|--|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語):      |  | 履修した授業科目名(日本語): |  |
| Multicultural Psychology |  | 多文化心理学          |  |
| 科目設置学部・研究科               | Psychology   |                 |  |
| 履修期間                     | 秋学期  |                 |  |
| 単位数                      | 3  |                 |  |
| 本学での単位認定状況               | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)   |                 |  |
| 授業形態                     | 講義形式(チュートリアル, 講義形式等)   |                 |  |
| 授業時間数                    | 1週間に 85 分が 2 回   |                 |  |
| 担当教授                     | Theresa Montgomery Okwumabua   |                 |  |
| 授業内容                     | 様々な文化に関して、表面的な部分だけでなく、心理的な部分からも学んでいく授業です。様々な人種の人々が受けているので、生徒の発言を聞いているだけでもとてもためになり、他の文化を知ることができます。  |                 |  |
| 試験・課題など                  | 試験は学期中に 3 回あり、問題数が多いわりに、時間が短いので、しっかり教科書を読み、重要な部分を頭に入れておく必要があります。また、2 回プレゼンがあります。自我文化を持つ人に話を聞いたり、自分とは違う文化に触れてレポートを書き PPT を作り発表するものでした。  |                 |  |
| 感想を自由記入                  | この授業は、他の文化を知るための授業なので、生徒自身が自ら他の生徒と交流して学ぶという意識が強く、この留学中に受けた授業の中で一番クラスの雰囲気がよかったです。また教授もとても明るく、英語に不安を抱えていた私に配慮もしてくださったので、とても楽しく受けることが出来ました。また、授業最終日には、教授が生徒を自宅に招待し、みんなで伝統料理を作りとても楽しかったです。 |                 |  |

|                        |  |                 |  |
|------------------------|--|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語):    |  | 履修した授業科目名(日本語): |  |
| Introductory Sociology |  | 社会学入門           |  |
| 科目設置学部・研究科             | sociology  |                 |  |
| 履修期間                   | 春学期  |                 |  |
| 単位数                    | 3  |                 |  |
| 本学での単位認定状況             | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)   |                 |  |
| 授業形態                   | 講義形式(チュートリアル, 講義形式等)   |                 |  |
| 授業時間数                  | 1週間に85分が2回   |                 |  |
| 担当教授                   | Darron Smith   |                 |  |
| 授業内容                   | アメリカだけでなく、世界全体の問題などを様々な面からデータを使ってみていく授業です。国家間や国内での格差や性的問題、犯罪の問題などピックの範囲が広いので、社会学とは何かというのを学ぶことができます。                  |                 |  |
| 試験・課題など                | 学期内で4回のペーパー提出があります。自分でピックを選ぶことができるので、興味のある中から選ぶと書きやすいと思います。試験に関しては、中間と期末にあります。しっかりと教科書やPPTを読み勉強すれば高得点を取るのには難しくありません。 |                 |  |
| 感想を自由記入                | 教授が明るい方で、質問に行くと丁寧に対応して下さるのでとても楽しい授業でした。社会学に興味がある人にはお勧めです。  |                 |  |

|  |   |                 |  |
|--|---|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語):                      |   | 履修した授業科目名(日本語): |  |
| Introduction to Modern Political Thought |   | 現代政治思想入門        |  |
| 科目設置学部・研究科                               | Political Science   |                 |  |
| 履修期間                                     | 初学期   |                 |  |
| 単位数                                      | 3   |                 |  |
| 本学での単位認定状況                               | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)  |                 |  |
| 授業形態                                     | 講義形式(チュートリアル, 講義形式等)  |                 |  |
| 授業時間数                                    | 1週間に85分が2回  |                 |  |
| 担当教授                                     | Molly Henderson   |                 |  |
| 授業内容                                     | 現代の政治思想を学ぶためにまず昔の政治思想家がどのように考えていたかを学びます。具体的には、マキユベリやルソーなど有名な思想家の本を読み、政府は国民に何をすべきなのか、国民は政府に何をすべきなのかを学びます。  |                 |  |
| 試験・課題など                                  | 5回のwriting assignmentがありこれは、じゅぎょお鶴内で学んだことに対して、教授が質問を出してくるので、それに対する自分の意見などを書いて提出するものです。また、5回のクイズと期末クイズがあります。内容によっては、アメリカの歴史そのものを知らないといけないものもあり、非常に難しかったです。 |                 |  |
| 感想を自由記入                                  | 教授は質問などウェルカムな方なので、わからないことはオフィスアワー行ったり、メールで質問すると親切に答えてくれます。ただ、昔の思想家などを扱うため、その資料などが昔の英語で書かれていて、読むのに非常に苦労しました。   |                 |  |

|  |   |                 |  |
|--|---|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語):                        |   | 履修した授業科目名(日本語): |  |
| Introduction to Women's and Gender Studies |   | 女性とジェンダー研究入門    |  |
| 科目設置学部・研究科                                 | Interdisciplinary Programs  |                 |  |
| 履修期間                                       | 春学期   |                 |  |
| 単位数  | 3   |                 |  |
| 本学での単位認定状況                                 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)  |                 |  |
| 授業形態                                       | 講義形式(チュートリアル, 講義形式等)  |                 |  |
| 授業時間数                                      | 1週間に85分が2回  |                 |  |
| 担当教授                                       | Lilith Green  |                 |  |
| 授業内容                                       | 女性学や性について学ぶ授業です。ただ女性だけでなく、男性であるがゆえに社会的に抑圧されている面なども学ぶので、男女両方の面から性とは何かを学ぶ授業です。  |                 |  |
| 試験・課題など                                    | 毎週教科書と、それと別に出された参考資料を読み、800字程度でまとめる課題がありました。最初は大変でしたが、慣れていくうちに要領よくこなせるようになりました。更に、授業が終わった後に、ディスカッションボードで振り返りを書く課題もありました。試験に関しては、中間と期末にオンラインテストがあり、教授が事前にこの範囲から出ると教えてくれるので、それに沿って勉強すれば満点が取れると思います。 |                 |  |
| 感想を自由記入                                    | 毎週の課題が少し重たいように感じますが、授業自体は非常に面白く、教科書の内容だけでなく、YouTube などから引っ張ってきた参考動画などもたくさんあり、興味深い内容がたくさんありました。少人数で、教授も若い女性の方でフレンドリーなので、緊張せずに授業を受けることが出来ました。   |                 |  |

|                            |  |                 |  |
|----------------------------|--|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語):        |  | 履修した授業科目名(日本語): |  |
| Introduction to Philosophy |  | 哲学入門            |  |
| 科目設置学部・研究科                 | Philosophy   |                 |  |
| 履修期間                       | 春学期  |                 |  |
| 単位数                        | 3  |                 |  |
| 本学での単位認定状況                 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)   |                 |  |
| 授業形態                       | 講義形式(チュートリアル, 講義形式等)   |                 |  |
| 授業時間数                      | 1週間に85分が2回   |                 |  |
| 担当教授                       | Amit Sen   |                 |  |
| 授業内容                       | 有名な思想家の考え方などを基に哲学を学んでいく授業です。ただ思っているよりもそこまで硬い授業ではなく、映画などを見てそこから他の人の考え方なども学びました。   |                 |  |
| 試験・課題など                    | 毎週、教科書を基にクイズを出され、授業の時に提出する課題がありました。基本的に、教科書をしっかりと読めば解けるものなので、そこまで難しくなかったです。中間はなく、期末は、テストではなく、授業の振り返りエッセーを書いて提出するというものでした。授業に関することであれば基本的にトピックは自由だったので、書きやすかったです。 |                 |  |
| 感想を自由記入                    | 人数が多かったですが、授業内で、生徒が活発に発言をする授業で、教授もそれに対して、丁寧に返していくので、雰囲気の良い授業だったと思います。また、昔の思想家だけでなく、他の人の考え方からも学べる部分があるので面白い授業でした。   |                 |  |

## 卒業後の進路について

|  |
|--|
| 1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:   |
| 2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など  |
|  |
| 3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)<br>※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。   |
|  |
| 4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。<br>(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)<br>※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 |
|  |
| 5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。  |
|  |
| 6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。   |
|  |
| 7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。  |
|  |

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

|          |         |                                |
|----------|---------|--------------------------------|
| 留学開始年の前年 | 1月～3月   | TOIEC の勉強                      |
|          | 4月～7月   | TOIEC                          |
|          | 8月～9月   |                                |
|          | 10月～12月 | 出願、面接                          |
| 留学開始年    | 1月～3月   | 可否、オリエンテーション                   |
|          | 4月～7月   | VISA 申請、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、履修登録 |
|          | 8月～9月   | 留学開始                           |
|          | 10月～12月 | 中間、期末                          |
| 留学/帰国年   | 1月～3月   | 中間                             |
|          | 4月～7月   | 期末、帰国、帰国後に必要な申請等               |
|          | 8月～9月   |                                |
|          | 10月～12月 |                                |



**留学体験記**

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

この大学を選んだ理由は、人種問題に関して興味があったので、できるだけいろいろな人種がいるアメリカの南部を選びました。実際に、白人、黒人、ラテン系など多くの人と関わることが出来たので、選んでよかったと思います。また、この大学は日本語学科があるので、私が現地の人から学ぶだけでなく、私自身も現地の人に何か教えるたり交流が出来ればいいなと思いこの大学を選びました。実際に日本が好きな生徒と関り、お互いにお互いの文化をシェアしたり、学ぶことが出来たのでここを選んでよかったと思います。心から感じたのは、英語を学ぶには、留学をすることが一番ということです。最初は本当にコミュニケーションをとるのが難しくて、ホームシックも重なり大変なことが多かったように思いますが、今考えるとその時期に諦めなくてよかったと思います。大変な時こそ成長するチャンスだと思うので、留学先で大変なことがあっても、強い気持ちをもって頑張ってもらいたいです。また、社会人になっても留学することは可能だと思いますが、明治大学に在籍している間に留学行くことのメリットがあると思います。1つは、留学をしても頑張れば4年で卒業できることです。これは学生生活をより充実したものにすることが出来ると思います。また、金銭的に心配している人もいます。確かに留学するにはお金がかかります。ただ明治大学には返金不要の留学者への奨学金制度もあります。留学先や金銭面など、自分でしっかりと調べて、あるいはわからないことは明治大学の留学担当の方に聞いて、よりよい選択、より充実した留学になるように頑張ってください。